

自己評価総合判定表

あらしろこども園

実施日

令和6年12月10日

内容	問題数	小計	満点	得点率 %
全体計画について	5	9.2	15	61.3
養護と教育の一体的展開	10	24.9	30	83.0
生活と発達の連続性	21	48.3	63	76.7
環境を通して行う保育	28	67.9	84	80.8
子どもの福祉増進の場	26	46.5	78	59.6
家庭との緻密な連携	17	28	51	54.9
健康及び安全の実施体制	17	29.5	51	57.8
職員の資質の向上	6	11.812	18	65.6
職員の資質の向Ⅱ	84	123	168	73.2
集計	214	389.112	558	69.7

総評

自己評価・園の評価 ○良い点 ★課題

○子どもの発達を一貫性を持って捉え、実践できている。生活、健康、情緒の安定と、知的、社会的学びが学習の基盤となることを踏まえている。
 ○カリキュラムは、子どもの姿から捉えることを基本に、週案に子どもの姿から援助のあり方を計画している。環境構成や、援助の方法が、具体的に可視化され、共有されている。
 ○保護者ニーズに対応し、幼稚園と保育園の両方の機能が生かされている。
 ★子ども一人一人、保護者の個別の要望や家庭支援が求められている。専門機関と連携しながら支援を継続させていく。

17項目アンケート・園の評価 ○良い点 ★課題

○カリキュラムは、年齢や発達段階に応じて構成され、年齢を超えて共有されている。
 ○情緒の安定を図りながら、やってみたい、試したみたいといった子どもの主体の学びを尊重した活動が行われている。
 ○障害のある子どもの対応にあたっては、適切なこども同士の刺激が発達を支えることを基本に、インクルーシブな対応が出来ている。
 ★職員の専門研修を充実させスキルを高める
 ★子どもの発達に応じたカリキュラムを柔軟に調整し、職員全体で共有する仕組みを作る。

保護者アンケート・園の評価 ○良い点 ★課題

○子どもの主体性を活かした保育が保護者から評価され、子どもの自立心、社会性、表現力、想像力が育っていることを家庭でも成長したと捉えている。
 ○就学前施設としてふさわしいとの回答が多くあり、こども園としての役割を保護者と共有することが出来ている。
 ★ミニコミュニケーションの機会が不足していると感じる意見が数件あり、直接的な日々のミニコミュニケーションを望む保護者がいる。担任だけではなく、フリーや職員全員で保護者とのミニコミュニケーションの機会を増やしていく。